

坂出市子ども会育成連絡協議会

坂出市子ども会育成連絡協議会は8地区からなり、子ども会員752名、育成者602名です。

どの地区も特色ある活動を活発に行い、また、活動形態を改革して会員数の減少や会員の意識の変化に応じて活動を発展させようとして努力しています。以下、各地区の取組を報告します。

金山地区子ども会（金山地区）

金山地区子ども会は、多彩な独自の年間行事を行い地元の方々や保護者、子ども同士の交流を図っております。

また、各単位子ども会での行事もあり、充実した内容となっております。

☆（独自事業例）☆

- ・ 年度初めの発会式
- ・ 連合自治会と協力して坂出大橋まつり総踊りへ参加（写真上）
- ・ 恒例行事としてのキャンプ大会（写真中）
- ・ 地元農家の方に協力していただいた玉ねぎ収穫祭（写真下）
- ・ ナイトウォーク
- ・ クリスマス会
- ・ 地元の消防団の方に協力していた



1.子ども会の紹介

西庄連合子ども育成会は、全校生51名の坂出市立西庄小学校の地区にあります。その加入人数は、表のとおりです。

単位別加入数の表

番 号	1	2	3	4	5	6
単位子ども会名	庄	八十場団地	醍醐南	別宮	原・大町	八十場
小学生人数	2	2	2	2	6	12
合 計 26名						

子ども会員数は小学生26名・幼児7名の合計33名です。現在は表の1～4番までを1ブロック子ども会として、2単位+1ブロックの子ども会として活動を行っています。年々会員数が減少していくなか、個々の単位では活発な活動ができなくなってきています。

そこで、ここ数年は異年齢の子どもがより多く集い活発な活動ができるように西庄地区全体での子ども会行事を充実させてきています。今年度からは祭りなど単位子ども会の取組を尊重しつつ、更に西庄全体での行事に活動の重点を移していくこと、同時に役員体制など組織運営に関してもより一体化を進めていくことを検討しています。

2.西庄全体で行っている活動の報告

① 夏のキャンプ大会(一泊二日)

役員が集まって、毎年違った多彩な企画を考えて行います。



【テントを張って、テントで寝ます（みんな楽しみ）】

② クリスマス会

こちらも毎年違うステージショーを企画します。



【ステージ・マジックショー】【キャンドルセレモニー】

3.最後に

児童数の減少に伴い将来西庄小学校が統合され、廃校になるかもしれないのが現状です。しかし、たとえ西庄小学校がなくなっても西庄連合育成子ども会がいつまでも存続できるよう、指導者・育成者OBで基盤作りをして子どもたちの為に、地区全体で子ども会を残してあげたいと思っています。

1. 連合親子会の紹介

林田町内12地区の単位子ども会より成り立ち、会員数はジュニアリーダー・保護者をあわせ約420名となっています。

2. 主な行事

① 第39回子ども相撲大会・第21回女子腕相撲大会

毎年5月5日【子どもの日】に恒例行事として、林田町内の総社神社境内にて奉納相撲を開催しています。今年は、男子25名・女子48名(計73名)の参加で、はじめに宮司さんによる安全祈願の祈祷があり、子ども力士が取り組みを行いました。地域や保護者の方々、坂出市公認キャラクターの【さかいでまる】も応援にかけつけてくれ大いに盛り上がりました。



【宮司さんによる安全祈願の祈祷】【女子だって負けてない!!】【さかいでまるもがんばってます♪】

② 子ども会議

子ども主体で進行・決議するもので、大人はそばで見守り助言する程度の【子どもによる子どものための】会議を開催しています。林田町内12地区の単位子ども会の会長・副会長で成り立ち、年2～3回の予定で行われています。

初回は自己紹介のあと、会長・副会長・書記を選任し、そこから子どもたちで会を進めていき、さかいで大橋まつりで着用するTシャツの色やデザインを決めます。第2回は、11月に行われるふるさとの親子まつりにどのように参加し何をするかを決めます。年度末には1年間のまとめ・反省会をして締めくくります。



【熱い戦いが!!】



【ふるさとの親子まつりの出し物についての意見会】



加茂地区子ども会（加茂地区）

加茂地区子ども会では、子ども会員数の減少により休止している数地区の家庭から子ども会入会希望があったため、新ブロック子ども会を立ち上げました。

坂出市子ども会育成連絡協議会の行事、加茂地区の行事の案内をし、参加してもらったり、加茂地区内の別の単位子ども会の夏休みデイキャンプに合同行事として参加するなど活動を広げています。

行事には親子で参加していただき、保護者の皆さんも協力的でとても盛り上がった子ども会行事になっています。

これをきっかけに加茂地区内の他の単位地区の会員増加や地区全体の交流がさらに増えるようにしたいです。



坂出市松山地区子ども会育成連絡協議会（松山地区）

松山地区子ども会は、現在、子ども会員１８３名、育成者１７１名の比較的に坂出市子ども会育成連絡協議会の中では大所帯の組織となっています。

松山地区は、坂出市の公認キャラクター「さかいでまろ」のコスチュームにも使われている“金時みかん・金時いも・金時にんじん”のいわゆる【三金時】の一大生産地です。

毎年１１月に行われる「ふるさとの親子まつり」では、**松山地区の特産物を子どもたちが先頭に立ち販売しています**。地域の方々にわけていただいた、金時いもの焼いも、子どもが自分たちでみかん狩りをして袋詰めにしたみかんをなど、いずれの特産物も会場を訪れた方々に毎年大好評です。そして、それを子どもたちが販売することによって、**自分たちの地域で作られた特産物に誇りを持つようになり、それを提供してくれた地域の方々への感謝の気持ちを新たにしています**。

このように、松山地区子ども会は、地域に根差した活動を通じて、ふるさとに愛着を持ち、進んでボランティア活動に参加できる子どもに育つように力を入れています。

瀬居子ども会（瀬居地区）

瀬居町は坂出市北部に位置し、三方を瀬戸内海に囲まれ、周囲4.4キロ時計回りに北に竹浦、東に本浦、南に西浦、西に北浦集落が存在しています。

春には島四国遍路といわれる四国八十八箇所の縮小版として「瀬戸八十八箇所」が、毎年4月29日昭和の日に催されます。

秋には神輿を瀬居八幡宮から担ぎ、大漁旗で着飾った漁船に乗せ、瀬居島を一周する秋祭りが催されます。

☆（年間子ども会予定表）☆

6月	ドッジボール練習 花いっぱい運動 ドッジボール大会
7月	夏休みの集い
9月	秋祭り
10月	親子釣り大会
11月	花いっぱい運動
2月	わんぱくゲーム大会

まとめ

子どもの減少や地域との繋がりが希薄する中、地域で子どもの成長を見守る役目として、瀬居子ども会は活動を重ねていこうと考えています。

～ 夏休みの集い ～

夏休みに入ると、日帰りで地元の海にて海水浴をメインに宝探し、スイカ割り、バーベキューをします。

中でも恒例になるのが取れたての小魚やタコ、海老のつかみ取りで子どもたちの好奇心はわしづかみです。

東部地区

❀愛を増やそう❀

東部地区の今年度のテーマは、愛です。家族愛、地域愛、友達愛、色々な愛を見つけてほしいという意味です。

年々、子ども会員の加入率は減っています。私たち保護者は、子どもたちの思い出に残る様な行事を考えたり、新規加入者をどういうふうに増やしていったらいいのかを考えたり、無駄な行事を減らしたり改革しながら活動できるように頑張ってます。

そして、今加入してくれている子どもたちや、新しく加入してくれた子どもたちが、子ども会に入っていて良かったと思ってもらえるように、これからも保護者も一緒に楽しみながら行事を考えていきたいです。子どもたちの今は、今しかありません。愛をたくさん見つけながら、活動していきたいです☒



【花いっぱい運動では、東部小学校の花壇にハート形にお花を植えました】